文学レジデンシー入門ワークショップ

海外の文学レジデンシーに興味があるけど……という小説家・詩人・劇作家・翻訳家（プロアマ不問）を対象に、オンラインワークショップを行います。内外のレジデンシーや文学祭での経験が豊富な多言語の書き手と文学国際交流の立役者から、文学レジデンシーとは、参加のメリット、最適なレジデンシーの探し方、ネットワークの作り方、応募の仕方などお話をうかがう全体会のあと、小グループでの相談セッションを設けます。
（日本語での開催・日英通訳あり）

戴凡(ダイ・ファン) 広州・中山大学国際学部教授。言語学博士、創作芸術修士。中国 ESL 創作教授法の草分け的存在で、中山大学英語創作センターの初代所長。2013 年アイオワ大学国際創作プログラムを訪問。2015 年より中山大学作家レジデンシーを運営。中国語と英語で小説および論文を出版している。

永井真理子（ながい・まりこ）英語で詩・短編・小説を執筆し、また児童文学、詩の翻訳者としても積極的に活動している。北米 Pushcart 賞を短編部門、詩部門両方で受賞し、トランスナショナルな作家として作品がドイツ語、ブルガリア語、ルーマニア語、中国語、フランス語、中国語、ベトナム語等に翻訳されている。Yaddo, the Rockefeller Foundation, Akademie Schloss Solitude, Writers Center at Norwich 等世界中のレジデンシ—に滞在経験あり。テンプル大学ジャパンキャンパスで日本文学・クリエイティブライティングを教えている。

桑原輝（くわはら・ひかる）大学卒業後、2013 年に独立行政法人国際交流基金へ入職。2017 年から 3 年半、バンコク日本文化センターにて文化芸術交流事業を担当。タイの国際文学フェスティバルに日本の作家を招聘し、タイの作家交流事業などを実施したほか、日本映画祭、写真展等のアートを通じた国際交流事業を担当。2021 年 1 月からは関西国際センターにて勤務。

関口涼子（せきぐち・りょうこ）著述家・翻訳家　日本語とフランス語で創作を行う。主な著作に『カタストロフ前夜』（明石書店）、『Nagori』（P.O.L.）、主な訳書に『素晴らしきソリボ』パトリック・シャモワゾー（河出書房新社）。2013~14 年フランス文化庁招聘でローマのヴィラ・メディチに滞在。2016 年ヴィラ九条山でのレジデンスに参加。フランス・ヨーロッパの多くの文学フェスティバルでイベントを企画していている。

吉田恭子（よしだ・きょうこ）英語で小説を執筆、日本の現代詩・戯曲を英訳、アメリカ現代小説を和訳している。2005 年アイオワ大学国際創作プログラムをはじめ香港やシンガポールのレジデンシーに参加。立命館大学文学部教授。

2021 年 3 月 27 日（土）19:00～（日本時間）
zoom によるオンライン開催・無料・要予約（30 名）

19:00～20:00　文学レジデンシーに応募しよう！
20:00～21:00　小グループでの相談会
21:00～21:30　まとめ

QR コードのリンクから要申込
https://bit.ly/3dNPeKU

問合先: 立命館大学・吉田恭子(司会)
kyotowritersresidency@gmail.com

共催: 立命館大学国際言語文化研究所
萌芽的プロジェクト研究
「ポスト国民文学時代の文学生産と文学流通の多様化と活性化についての研究」
科研費　国際共同研究加速基金(国際共同研究強化 B)
「冷戦期東アジアにおける創作教育、文学、大衆文化」
京都文学レジデンシー準備委員会

RITSUMEIKAN UNIVERSITY